

報道関係各位

2021年6月9日 日本アビオニクス株式会社 https://www.avio.co.jp/

顔認証や入退室システム、セキュリティゲートへの組込みに最適 **高性能 国産サーモカメラモジュールを発売**

─ SDK 無償提供と技術サポートでシステム構築を支援 ─



サーモカメラモジュール InfReC FS シリーズ C50A-FS

日本アビオニクス株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:竹内 正人)は、人の体表温度から発熱の疑いがある人を被検者に近寄ることなく衛生的に特定する、発熱者スクリーニング用の赤外線サーモグラフィカメラ(以下、サーモカメラ)【InfReC(インフレック) フィーバースクリーニング(FS)シリーズ】の新たなラインアップとして、サーモカメラモジュール【C50A-FS】(以下、新製品)を7月から出荷開始いたします。

新製品は、入退室管理システムやセキュリティゲートへの組込に最適な、発熱者スクリーニング用の高性能サーモカメラモジュールです。 240×240 画素の高解像度なサーモカメラに可視カメラを一体化させ、わずか 100g の小型・軽量を実現しています。小型化によりサーモ画像と可視画像がほぼ同軸で撮影できるため、顔認証との組合せ時にもカメラ 1 台で高精度なシステム構築が可能です。また、USB ケーブル 1 本による接続と IP54 相当の防塵防沫性能により、様々な場所に簡単に設置することができます。

Windows 版と Linux 版のソフトウェア開発キット(以下、SDK)を無償提供しており、ホームページからダウンロードして頂けます。ホームページに Q&A 集を公開しているほか、メールによる無償サポート、開発への有償サポートなど、サポート体制も充実しています。

なお、新製品は当社の国内工場で生産しており、また、データ保存やワイヤレス通信機能を持たせず、USBによるサーモ画像と可視画像の出力のみに機能を限定しているため、安心してシステムに組み込んでご利用いただけます。

当社は、50年の歴史を持つ赤外線サーモグラフィの国内トップブランドです。フィーバースクリーニングシリーズには、組込用カメラモジュールのほかにも、セキュリティゲートなどと組み合わせてすぐにご使用いただける F50SA-FS、T20A-FS などを取り揃えており、様々なシーンに合わせて最適な機種をご提案いたします。



◆ サーモカメラモジュール C50A-FS 仕様

・画素数 : 熱画像 240×240 画素、可視画像 720×720 画素

・測定視野角 : 熱画像 35°×35°、可視画像 70°×70°

・測定距離範囲 : 100cm~∞

・フォーカス : 固定(パンフォーカス)・測定温度範囲 : 0°C~50°C(単レンジ)

・温度分解能 : 0.1 at 30°C

・温度精度 : ±1.0°C (NUC 実行1分後)・データ転送レート : 熱画像 7.5Hz、可視画像 15Hz

・外部インターフェース : USB2.0, Type A コネクタ, ケーブル長 1.1m

·使用環境温度 : 10~35℃

・外形寸法 : 約 30mm (W) × 130mm (D) × 40mm (H)

突起部、ケーブル含まず

· 質量 : 約 100g

◆ SDK

Windows 版、Linux 版を無償提供(当社 HP よりダウンロード)

◆ 価格

希望小売価格	受注開始	出荷開始
オープンプライス	2021年6月9日	2021年7月12日

◆ 注意事項

- ・本製品は米国政府の輸出規則の規制対象部品を使用しておりますので、使用する国から再輸 出する場合には同規則の規制が適用されます。
- ・本製品は外国為替および外国貿易法の規定によりキャッチオール規制貨物等に該当します。 日本国外に輸出する場合は仕向地および使用者の業種、使用目的によっては日本国政府の輸 出許可が必要です。
- ・本製品の利用により取得される、特定の個人を識別できる情報は"個人情報"に該当します。個人情報は、個人情報保護法その他の関連法令・ガイドラインに従ってご利用ください。

【本製品に関するお問合せ先】

赤外線サーモグラフィ事業部 営業部

〒224-0053 横浜市都筑区池辺町 4475 番地

TEL: 045-287-0303 mail: product-irc@ml.avio.co.jp

URL: https://www.avio.co.jp/



【当社の発熱者スクリーニングに関する取り組み】

2021 年 4 月に創立 61 周年を迎えた当社は、サーモカメラの国内トップメーカとして半世紀にわたり、研究開発や製品検査、防災監視など様々なシーンに製品やシステムを納入し、「安心・安全な社会づくり」に貢献してまいりました。

2002 年から 2003 年にかけての SARS(重症急性呼吸器症候群)流行時には、その高い信頼性から当社製サーモカメラが全国の国際空港・港湾に配備され、水際対策として発熱者の検知(スクリーニング)に貢献しました。その後、2009 年の新型インフルエンザ、2014 年のアフリカでのエボラ出血熱、2015 年の韓国での MERS の流行におきましても、世界の水際対策に当社製品が多く採用されました。

2019 年 12 月以降は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の急拡大に伴い、空港以外にも企業の受付や工場、公共施設、病院、交通機関、イベント会場、テーマパークなど人の往来が多い場所を筆頭に、スクリーニング用途でサーモカメラが採用され、集団感染のリスク低減対策として活躍しております。2021 年 6 月現在、国内の感染者数は依然高い水準で推移しており、また、感染力の高い変異株の懸念もあることから、全国各地で緊急事態宣言が発令されており、継続的な感染症対策への取り組みが必要な状況となっております。このような背景から、サーモカメラを含めた体温測定器の配備が補正予算や助成金に組み込まれ、引き続き需要継続が見込まれることから、当社はスクリーニング用途に特化したサーモカメラをあらたにラインアップするとともに、既存製品についても安定供給に向けた生産体制整備を図っています。

現在、発熱者スクリーニング用サーモグラフィの普及とともに、運用方法や誤報などに関するご相談が多く寄せられるようになりました。当社は、約半世紀にわたるノウハウを持つ日本のサーモカメラメーカーとして、JIS 規格の「JIS Z 2305 赤外線サーモグラフィ技術者」の有資格者が営業、技術ともに多数在籍しており、最適機種のご提案から設置、運用方法に至るまでのサポートを実施しております。また、製品に精通した全国の販売店と連携しており、国内にサポートセンターを有することから、速やかな製品サポートが可能です。

当社および当社の製品には次のメリットがございます。

- ① 製品の信頼性が高く、検疫所など水際対策での実績が豊富
- ② 最適機種の選定から設置までのご提案が可能
- ③ 運用方法やアフターサービスのフォロー体制
- ④ 全国に販売網があり、流通も安心

当社は今後も国内トップブランドとしてサーモカメラをさらに進化させ、社会の「安心・安全」 に貢献するとともに、引き続き製品の提供とサポートをしてまいります。



【サーモカメラの利点】

◆感染拡大のリスクを低減 (お客様や従業員の安全を確保)

◆発熱者の来訪、出勤を抑制 (健康管理意識の向上)

・非接触で体表温度を測定 (衛生的)

・瞬時に測定 (効率的)

・アラームで警告(直感的)

·簡単設置、簡単設定 (汎用的)

・システムとの連動が容易 (利便的)

【発熱者スクリーニング用サーモグラフィ InfReC FS シリーズ ラインアップ】

F50SA-FS シリーズ



•

解像度

T20A-FS



120×160 画素

T15A-FS



120×160 画素

D20A-FS

240×240 画素



解像度 160×120 画素

G20A-FS



120×160 画素